

部会名 くらし部会

	部会	事例検討ワーキング	企画研修ワーキング	相談支援ワーキング	権利擁護ワーキング
今年度の取り組み	<p>○くらし部会の開催 6月17日 9月2日 3月10日</p> <p>○事例検討、企画研修、相談支援、権利擁護の各ワーキンググループによる事業実施</p> <p>○「ともに生きる福祉研修会」の開催 3月2日 参加者 216名</p>	<p>○第1回事例検討会 8月31日 事例提供 医療機関から (1例) 出席人数 15名</p> <p>○第2回事例検討会 1月31日 事例提供 施設から (1例) 地域から (1例) 計2事例 出席人数 8名</p> <p>※方面の職種が一事例を検討することは大変有意義であった。</p>	<p>○世話人等研修会の開催 9月23日 77名参加</p> <p>・それぞれ立場で役割分担し準備に取り組むことができた。</p> <p>・ファシリテーターなど当日の協力体制も良かった。</p> <p>・圏域外法人のGHの様子を知ることができ有益だった。</p> <p>○地域の社会資源について考える研修会の開催 12月7日 68名参加</p> <p>・初めての試みであったが、介護保険関連の事業所からの参加も多く、抱えている課題に関心を持ってもらえた。</p> <p>いずれ企画も参加者の反応が良かった。研修会の開催を通じて他職種との連携を深めることができた。</p>	<p>○基準該当生活介護事業所見学・意見交換会 (介護保険制度との違い) 10月12日開催 参加者14名</p> <p>・事業所が抱える問題点等、現状把握ができ、より理解が深まった。</p> <p>・障害者受け入れ等の理解促進ができ、調整が図りやすくなった。</p> <p>○たばしね学園見学・意見交換会 (他圏域のサービスについて学ぶ) 12月15日開催 参加者12名</p> <p>・県南地域での学園の役割と現状を把握することができ理解が深まった。</p> <p>・実際学園で行っている支援方法等を学び、現場のサービス事業所へ支援の方法の1つとして情報提供をすることができた。</p>	<p>○権利擁護について学ぶ研修会 8月8日開催 参加者24名</p> <p>○いわて大会バスケ応援隊結成式 9月26日開催 参加者20名</p> <p>○いわて大会バスケットボール競技の応援 10月22、23、24日 参加者合計260名</p> <p>○いわて大会バスケ応援隊報告会 11月28日 参加者15名</p> <p>ともいき条例、差消法の研修会を実施。法の理解と関係者間の共通理解につながった。</p> <p>・希望郷いわて大会におけるいちのせきバスケ応援隊の活動を実施。障がい関係者だけでなく、一般の方、学生へ障害者スポーツを周知できた。</p>
明らかになった課題	<p>○それぞれのワーキンググループが「小さなくらし部会」的な運営になり、ワーキンググループ間の連携が取れなかった。</p> <p>○部会間 (子ども支援部会、しごと部会) との連携が必要ではないか。</p>	<p>1 ・事例の挙げ方について、以下のように変更したい</p> <p>○事前に事例提供フォームで要約し当日参加者資料提供</p> <p>資料では把握できなかった情報について参加者が当日追加収集することにより、ディスカッションに費やす時間を増やすことができる。</p> <p>2 事例検討の果たす役割の拡充を図る</p> <p>○病院・施設や地域で、問題になりながらも具体的解決策がないまま経過を見ているケースについて、各関係機関が情報を共有することにより、問題が発生した場合に各関係機関が早急に適切に対応できる一助とできる。</p> <p>○出された事例から、今後自立協で取り組むべき課題がないか再考し、部会に提案、そのケースの課題解決へ繋げる。(例:ショートステイ受け入れ施設拡大のためのケース情報提供ツールの確立等々)</p>	<p>○運営面</p> <p>・新体制となり模索しながらの展開だったが、フットワークが軽くなった半面、打ち合わせなどが増え負担を感じるところもあった。</p> <p>・研修会後のフォローができていない。</p> <p>・事務局の負担が大きい。</p> <p>○地域課題</p> <p>・地域の課題や制度の問題点を集約し国県に働き掛ける仕組みが必要。</p> <p>・課題解決に向けて取り組みたいテーマはあるが…。</p> <p>・利用者の高齢化、介護保険への移行、GHの基準厳格化 等々。</p>	<p>○重度・高齢化に対する相談支援。</p> <p>○困難事例に対する連携。</p> <p>○介護保険事業所との連携。</p> <p>○サービス事業所等が少ない。(指定事業所であっても受入れが困難等。)</p> <p>○学校等の連携が図りにくい。</p> <p>○他 WG との交流がなかった。</p>	<p>・障害者差別が解消されていない現実がある。障害があるゆえの暮らしづらさの中で差別として認識されないものがある。</p> <p>・ともに暮らす社会に向け、一般の方々と共に活動する機会が必要。</p> <p>・部活動がない支援学校生徒等の部活動に代わる活動の場について検討が必要。</p>

	部会	事例検討ワーキング	企画研修ワーキング	相談支援ワーキング	権利擁護ワーキング
今後の展開	<p>○くらし部会の開催 5月9日 9月21日 3月15日</p> <p>○事例検討、企画研修、相談支援、権利擁護の各ワーキンググループによる事業実施</p>	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数 ・年3回実施 <p>2 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関から・施設から・地域からとする <p>3 参加者はWGメンバー中心とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケースによっては事例提供者も参加可能とする。 	<p>○グループホーム世話人等研修会の開催。他のワーキングとの連携による事業実施等</p>	<p>○事例検討。(障がい種別毎で2回開催し、実務レベルでの研修。)</p> <p>5月・10月(予定。)</p> <p>○障がいの居宅介護事業所との意見交換会(事前アンケート等実施。)</p> <p>7月中旬(予定。)</p> <p>★2年に1度作成している「障がい福祉サービスのご案内～2018～」のパンフレットを例年どおり作成予定。(2,000部)300,000円～400,000円程度予算。</p> <p>⇒但し、相談支援WGだけの取組みでは、負担が過多となることから他WGとの役割を分担しつつ、他部会事務局の協力を得ながら取り組みたいと考えている。(※取りまとめは相談支援WGで行う予定。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮エピソード集め(アンケートの実施)及び講演会の実施。 ・車いすバスケの選手講演会、車いすバスケ体験会の実施。 ・ハーモニー(放課後デイ)の見学。